

事業報告

平成23年度



社会福祉法人 隆徳会
特別養護老人ホーム サニーヒル横浜

	項
1. はじめに	2
2. 事業実績	2
3. 介護老人福祉施設	3
4. 短期入所（介護予防）生活介護事業	6
5. 居宅介護支援事業	6
6. 運営適正化委員会	7
7. 給食の状況	7
8. 広報誌の発行	9
9. 健康管理等の状況	9
10. 機能訓練の実施状況	10
11. 防災訓練等の実施	10
12. サニーヒル横浜家族会の設立及び活動状況	11
13. 職員研修1（派遣研修）	12
14. 職員研修2（施設内研修）	14
15. ボランティアの受け入れ状況	16
16. 面会者の状況	16

平成 23 年度事業報告

1. はじめに

社会福祉法人隆徳会が運営するサニーヒル横浜は、介護保険法に基づくユニット型の特別養護老人ホームとして、平成 21 年 7 月に開所し、今年で 4 年目を迎える。

まだ田園風景が残る横浜市旭区の保土ヶ谷バイパス沿いに位置し、交通の便も良いため年間を通して、ご利用者の面会に多くのご家族・友人が訪れている。

ユニット型の特性を生かし、ご利用者が自分らしく安心して日常生活を過ごしていただくために、「ここを利用してよかったと心から感じていただける施設を目指す」とした隆徳会発足当初の理念に基づき、施設運営を行っている。

開設日及び定員

平成 21 年 7 月 1 日	特別養護老人ホーム	サニーヒル横浜	130 名
平成 21 年 7 月 1 日	短期入所生活介護事業	サニーヒル横浜	20 名
平成 22 年 1 月 1 日	居宅介護支援事業		

2. 事業実績

(1) 事業の状況

事業名	定員	平成 23 年度		平成 22 年度	
		利用者	稼働率%	利用者	稼働率%
特別養護老人ホーム	130	44,992	94.6	44,883	94.6
短期入所事業	20	8,562	117.0	7,133	97.7
居宅介護支援事業		7	—	25	—
合計	150	53,554	97.5	52,016	95.0

(2) 職員体制（平成 24 年 3 月末日現在）

職 種	職 務 内 容	人 数
管理者	施設従事者の管理及び業務の管理	2
生活相談員	ご利用者の受付及び相談業務等	3
介護支援専門員	ご利用者の施設サービス計画の作成等	2
介護職員	ご利用者の日常生活等に係る介護業務	87
看護職員	ご利用者の健康管理等の看護業務	7
嘱託医師	ご利用者の健康管理及び療養上の指導	3
管理栄養士	食事に関する必要な栄養管理	1
機能訓練指導員	ご利用者の身体機能の維持・向上に関する業務	2
事務職員	給与、経理、介護保険、一般事務等	3
施設管理職員	施設管理、自動車運転等	16
合計		126

3. 介護老人福祉施設

(1) 人数と内訳

区分(在籍者数)	男	女	合計
1F(1ユニット)	3	7	10
2F(6ユニット)	15	44	59
3F(6ユニット)	16	44	60
合計	34	95	129

※ 3月末日在籍者数

(2) 年齢

区分	65未満	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90以上	合計
男	4	1	4	5	8	7	5	34
女	1	1	4	11	14	30	34	95
合計	5	2	8	16	22	37	39	129
%	前期高齢者 12%			後期高齢者 88%				100

※ 3月末日在籍者

(3) 最高年齢と最低年齢

区分	最低年齢	最高年齢	全体年齢の平均
男	62	95	84.7
女	60	100	

※ 最低年齢の男性の疾病は若年性認知症。女性は小児マヒ。

(4) 保険者別入所者の内訳

保険者	横浜	横須賀	町田	藤沢	その他	合計
人数	80(内旭区44)	5	1	5	14	129

※ 3月末日在籍者数

(5) 介護度

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均 介護度
	部分的	軽度	中度	重度	最重度		
平成21年度	1	20	40	37	30	128	3.58
平成22年度	2	25	31	43	26	127	3.51
平成23年度	4	23	26	37	39	129	3.65

※ 3月末日在籍者数

(6) 認知症等精神疾患の利用者の状況

(各年度3月末)

疾患名	アルツハイマー型認知症	脳血管後遺症型認知症	老年性認知症	躁鬱病	パーキンソン病	不安神経症	老年期精神疾患	統合失調症	前頭側頭型認知症	若年性認知症	レビー小体認知症	否定型精神病	合計
21年度	28	4	39	4	3	4	3	3	0	0	0	2	88
22年度	32	5	33	5	3	6	1	4	3	1	1	0	94
23年度	36	7	27	4	3	6	1	3	2	1	3	0	93

※病名が重複している方を含む。

(7) 介護

・介護目標

平成23年度の短期目標に「個別ケアの充実とリスクマネジメントの確立」を掲げ、利用者個々の日常生活リズムを24時間シートに記録し、出来ることとできないこと、趣味や好み、生活習慣などを把握し、個別ケアの実践に取り組んだ。

また、介護事故予防に関しては、転倒・転落事故の防止を重点的に取り組みましたが、平成22年度の事故件数を上回ってしまい、平成24年度も引き続き重要課題として取り組むこととしている。

・排泄介助

排泄に関しては、自立のご利用者は22%、60%の方が全介助の状況である。

24時間シートに基づいて利用者を促し、出来る限りトイレでの排せつを心がけている。

・機能訓練

理学療法士による個別訓練及び作業療法士による集団訓練のほか、毎日全館一斉放送によるユニット内でのリハビリ体操を実施している。

また、機能訓練計画に基づき、介護士による生活リハビリを行い、利用者の身体機能の維持向上に努めた。

・入浴介助

入浴に関して自立のご利用者はユニット内の「個浴」を楽しんでいます。

一部介助の方で立位のとれるご利用者は、ユニット内のリフトを活用し「個浴」で対応している。機械浴は、全介助のご利用者で、約2割の方が利用している。

5月の「菖蒲湯」や冬至の「ゆず湯」など、入浴時に季節感を味わっていただき、利用者の希望にできるだけ添えるよう「同性介助」など、プライバシー保護にも努めている。

・整容、整髪

就寝時にはパジャマ等に着替え、起床時にはご利用者の気に入った衣服への着替え、洗顔、口腔ケア、整髪、髭そり、爪切り等、出来るだけご利用者ごとの生活サイクルに合わせて整容に努めた。 理美容は月1回実施した。

・クラブ活動・行事等

年間を通して、書道、生花、園芸、手芸など4つのクラブ活動は月1回、音楽は月2回、囲碁・将棋・麻雀のクラブは、週1回実施した。

全体行事としては7月に「サニーヒル夏祭り」、9月に「敬老祝賀会」、1月に「新年会」を実施した。

また、各ユニットやフロア行事として、誕生会、お花見、七夕、花火会、お月見、クリスマス会、初詣、節分、ひな祭りなどに取り組み、ご利用者に季節感や日常生活にハリと楽しみを味わっていただけるように努めた。

(8) 入退所状況

退所者 22名

(死亡退所者：13名、療養型施設への入所：7名、在宅復帰：2名、)

入所者 26名

(9) 入院者の状況

月	入院者数	延べ日数	入院時の主な診断名
4月	12	309	肺炎、イレウス等
5月	8	138	肺炎、心不全等
6月	8	161	肺炎、発熱等
7月	5	61	発熱、心不全等
8月	9	203	肺炎、心不全等
9月	9	240	肺炎、イレウス等
10月	12	254	肺炎、尿路感染等
11月	9	298	尿路感染、脳梗塞等
12月	12	203	肺炎、骨折等
1月	6	74	発熱、尿路感染等
2月	5	123	脳梗塞、イレウス等
3月	10	152	脳梗塞、摂食障害等
合計	105	2216	※平均入院日数：21日

(10) 申込み待機者の状況

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計	%
横浜市	17	33	34	29	23	136	90.7
内旭区	(7)	(16)	(13)	(16)	(13)	(65)	(43.3)
その他	1	4	2	6	1	14	9.3
合計	18	37	36	35	24	150	100

※3月末待機者数

4. 短期入所(介護予防)生活介護事業

(1) 事業の実施状況

平成23年度は、特養のご利用者の入院等による空室を活用し、年間を通して100%以上をキープし、施設全体の年間目標稼働率達成に貢献した。利用者の85%がリピーターで、新規利用者は15%であった。緊急入所は、利用者全体の7%で、出来る限り対応した。

(2) 月別利用人数及び稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者延日数	710	725	648	663	686	682	719	716	727	777	740	769	8,562
稼働率%	118.3	116.9	108.0	106.9	110.6	113.7	116.0	119.3	117.3	125.3	127.6	123.7	117.0

※ご利用者一人当たりの年間平均利用日数：23.5日

(3) 利用者の介護度内訳 (保険請求カウント)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
利用者数	1	5	18	48	38	36	34	180
延べ人数	72	40	722	1,814	2,491	2,290	1,133	8,562
利用の比率%	0.1	0.3	10.0	27.6	21.3	20.9	19.8	100

5. 居宅介護支援事業

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者(人)	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
認定調査(件)	8	6	6	9	6	2	5	3	7	5	3	5	65

※本事業は認定調査を中心に、本入所分を含めて必要に応じて実施しています。

6. 運営適正化委員会（苦情処理）

23年度	部署	件数	主な苦情内容
前期 12月12日	短期入所	1	①ご利用者に対する乱暴な介助への不満 ※ご利用者のご家族に謝罪、原因の究明と今後の対応策を示しご了解いただいた。
	特養	1	②面会時に職員がいないことへの不満 ※匿名であったため、施設長名で対応策を玄関ホールに書面で掲した。
後期 3月12日	特養	10	①～⑦ご意見箱への投函（食事への不満） ⑧ご意見箱への投函（床の汚れへの不満） ⑨ご意見箱への投函（他のご利用者が発する大声に対する不満） ※上記の苦情等はいずれも匿名であったため、施設長名で対応策を玄関ホールに書面で掲示した。 ⑩退所したご利用者のご家族からの書面による介護内容への不満 ※施設での介護は、ご家族の要望に最大限お応えして対応した旨を書面で回答した。

7. 給食の状況

給食は、ご利用者にとって楽しみなひと時であり、安全で新鮮な食材と季節感を感じていただける献立の提供に努めるとともに、月に1度、主菜の「選択食」を導入した。

また、加齢による嚥下機能の低下も顕著に見られ、ソフト食での対応もご利用者全体の27%に達している。残された機能を活かし、自力摂取できるよう介助食器の選定や適切な食事介助に努めた。

なお、管理栄養士による栄養ケア計画に基づく低栄養の改善や健康状態に応じた療養食の提供に努めた。

食事数

月	入居者食数	短期入所者食数	職員等食数	合計
4月	10,581	2,057	554	13,192
5月	10,605	1,944	549	13,098
6月	10,444	1,741	560	12,745
7月	10,939	1,830	539	13,307
8月	11,139	1,647	514	13,300
9月	10,672	1,783	527	12,982
10月	10,662	2,040	559	13,261
11月	10,352	1,917	555	12,824
12月	10,725	1,780	532	13,037
1月	10,540	2,118	547	13,205

2月	10,041	1,918	557	12,516
3月	10,749	1,994	588	13,331
合計	127,449	22,769	6,580	156,798

季節行事食

行 事 献 立		
月 日(曜日)	行事名	献 立 内 容
4月		計画停電のため行事食は中止
5月 5日(木)	端午の節句	散らし寿司、天ぷら、高野豆腐の炊き合わせ、木の芽和え、すまし汁
5月 24日(火) 6月 14日(火) 6月 28日(火)	そば打ち	天ざるそば、冬瓜の青煮、フルーツあんみつ ※フロアごとに3回に分けて開催
7月 7日(木)	七夕	七夕そうめん、精進揚げ、うざく、葛饅頭西瓜、うな井
7月 21日(木)	土用の丑	うな井、茶巾の煮物、漬物、そうめん汁、
8月 11日(木)	季節のご飯	ばら散らし、精進揚げ、漬物、赤だし
9月 18日(日)	敬老 お祝い膳	赤飯、天ぷら盛り合わせ、若鳥の二色巻き、シーフードマリネ、すまし汁、フルーツ寒天
10月 13日(木)	秋の お弁当	赤飯、和風ミートローフ、茶巾の炊き合わせ、澄まし汁、りんごコンポート
11月 10日(木)	季節のご飯	秋のピラフ、卵焼き、なす浸し、春雨スープ
12月 17日(土)	クリスマス	海老ピラフ、ミートローフ、パンプキンサラダ、マカロニスープ、マンゴープリン
1月 1日(土)	新年 お祝い膳	散らし寿司、ぶりの照り焼き、煮しめ、おせち(やわらか蒲鉾、伊達巻、栗きんとん、黒豆)、紅白なます、すまし汁、メロン
2月 14日(火)	バレンタイン	オムライス、ブロッコリーのクリーム煮、さつま芋のサラダ、きのこスープ
3月 3日(土)	ひな祭り	散らし寿司、天ぷらの盛り合わせ、菜の花のからし和え、浅漬け、すまし汁
3月 8日(木) 3月 9日(金)	寿司 バイキング	握り寿司、茶碗蒸し、和え物、フルーツ ※各ユニットを寿司職人が回り、好きな寿司をその場で握ってお代わりをしていただいた。

8. 広報誌の発行

発行日	通算号数	主な記事
23年6月1日	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ クリスマス会、初詣等の行事写真(表紙) ・ ユニットの紹介 ・ 介護福祉士合格者のコメント紹介 ・ 年間行事日程の紹介 ・ 相談員・ケアマネージャーの紹介 ・ 月1回の「選択食」開始のお知らせ ・ バザー売上等の災害義捐金への寄付のお知らせ ・ 「サニーヒル横浜家族会」新倉会長の就任挨拶 ・ 施設長挨拶
23年11月1日	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夏祭り、ズーラシア見学等の行事写真(表紙) ・ ユニットの紹介 ・ ボランティアさんの紹介 ・ クラブ活動の紹介 ・ アザラシロボット「パロとチャロ」の紹介 ・ 「そば打ちイベント」のお知らせ ・ 「お買い物イベント」のお知らせ ・ 「サニーヒル横浜家族会」内藤副会長の就任挨拶 ・ 黒沢事務主任の新任挨拶

9. 健康管理の状況

(1) ご利用者の健康管理状況

ご利用者の多くは慢性疾患等の持病を抱えており、胃ろうの方が7名、その他ストーマ、吸引や皮膚処置など、医療的処置の必要な方が増える傾向にある。

このため、日々の健康状態の把握、介護職員と看護職員との連携及び適切な医学的管理が重要であり、嘱託医師、訪問医と連携し、ご利用者の健康管理に努めた。

嘱託医：内科医 2名 毎週1回及び月2回定期回診
精神科医 月2回定期回診

歯科医：週2回往診治療

皮膚科：月1回往診治療

看護師：1日5名体制

薬剤管理、医療的措置(創傷の処置、経管栄養管理、疼痛看護等)、容態急変時の対応、夜間急変時のオンコール、口腔内の清潔保持等を実施した。

(2) 年間健康管理

内容	回数	実績
体重測定	毎月1回	全入所者
定期健康診断	年1回	全入所者

インフルエンザ予防接種	年1回(秋)	115名(希望者)
肺炎球菌予防接種	年1回	90名(希望者で未接種者)
感染予防	通年	面会者にも協力要請

10. 機能訓練の実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
個別訓練	356	337	356	339	374	385
集団訓練	170	151	171	188	248	210
合計	526	488	527	527	622	595
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
個別訓練	367	390	375	369	361	402
集団訓練	206	216	214	209	197	185
合計	573	606	589	578	558	587

※個別訓練は理学療法士が、集団訓練は作業療法士が担当

※その他、機能訓練計画に基づき、介護職員が各ユニットで生活リハビリを実施

11. 防災訓練の実施

月 日	訓練種別	訓練概要
6月9日	総合訓練	マグニチュード7の大地震が夜間発生を想定。 夜勤者及び宿直者のみの体制で訓練実施 消防署長の講評後、AEDを使用した心肺蘇生法の訓練を消防職員からの指導を受ける。
6月9日	消防立ち入り検査	前回の指摘事項は改善が図られており、指摘事項なし。
8月25日	災害時 緊急参集 計画	災害時、徒歩又は自転車・バイクで施設に参集できる時間に 応じて三班に分け、震度5以上の地震発生時に施設に参集する計 画を策定した。 併せて、「伝言ダイヤル」の操作方法を徹底した。
11月14日 11月15日	防災パネル操作 等の 施設内研修	非常時の事務室防災パネルの操作手順及び介護職員室の操作 パネルの使用方法について防災委員会による研修を実施。併せ て、災害備蓄倉庫の備蓄品の確認を行った。
11月17日	総合訓練	訓練時間を職員に事前通告せずに、震度6の地震発生を想定し て避難訓練及び消火訓練を実施した。

12月28日	年末防災点検	災害時非常食等の点検、コンセントのほこりやスプリンクラー作動時の障害物除去等の点検を実施した。
2月9日	自主防災訓練	訓練日時を事前に知らせずに「大地震発生時の初期対応」の訓練を実施した。

12. サニーヒル横浜家族会の設立及び活動

ご利用者の人権を尊重し、より快適な生活の確保と福祉の向上を目的に、「サニーヒル横浜家族会」が平成23年5月21日の設立総会を経て正式に発足いたしました。

会 長：新倉 隆氏 副会長：内籐 信義氏 委 員 7名

設立後は毎月第3土曜日午後1時30分より「役員会」を開催し、施設長、相談員、介護副主任と家族会主催の活動内容や施設への要望等について協議・調整を行った。

【サニーヒル横浜家族会の活動内容】

5月21日	家族会設立総会開催、家族会会則及び平成23年度事業計画を承認 会長、副会長等役員を選出 夏祭りのバザーへの献品及び協力者の募集を開始
6月25日	夏祭りのバザー物品への値札張り
7月3日	「サニーヒル横浜・夏祭り」でバザー会場を運営 収益金 57,250円
9月18日	敬老祝賀会当日、家族会会長からバザー収益金で、施設のご利用者が利用できる「玉入れセット」と頭の体操「ドリル」を寄贈する。 家族会主催による「敬老祝い膳の試食会」を実施し、試食会参加者からアンケートを実施
11月19日	多目的ホールで家族会主催による「喫茶ルーム」を開催 テーブルに花やテーブルクロスで喫茶店の雰囲気を出し、コーヒー、紅茶、緑茶、ジュースと当日のおやつを家族や友人、ユニットのお仲間と楽しいひと時を過ごしました。
3月17日	平成23年度の反省と次年度の事業計画を協議
4月21日	サニーヒル横浜 家族会総会開催

13. 職員研修 1 (派遣研修)

実施日	研修内容	参加者
5月1日	第18回日本介護福祉学会公開講座	清水 千津
5月17日	介護記録の書き方	高橋 英紀
5月17日	集団指導講習会	清水 千津
5月25日	災害時の施設と地域の連携	上山 眞照
5月26日	集団指導講習会	上山 眞照
5月26日	人材育成の手法	泉田 さやか
5月30日	人材育成の手法	中川 理恵子
5月30日	(社)横浜市福祉事業経営者会総会	上山 眞照
5月30日	県社協 管理者研修	山崎 憲司
6月1日～3日	第二種衛生管理者養成講習	川本 真悟
6月7日	東日本大震災を振り返って	大戸 久恵
6月15日	東日本大震災 合同研修会	山崎 憲司
6月17日	クレーム対応の基本を学ぶ	持増 真澄
6月20日	認知症の理解とケア	落合 巧
6月23日	論理的な職員指導法について	二ツ木 和美
6月23日	東日本大震災に学ぶ	岸 弘泰
7月6日	認定調査員新任研修	山本 恵衣子
7月14日	ケアマネージャー連絡会	清水 千津
7月14日	食事の介護と口腔ケアの実際	大森 幸代
7月16日	利用者の「生きる」を支えるアセスメントとニーズと目標	大戸 久恵
7月20日	入退所指針説明会	清水 千津
7月22日	旭区特別養護老人ホーム施設長連絡会	上山 眞照
7月22日	高齢者介護のための身体拘束をしないケア	新田 紗弥香
7月24日	理学療法士実務者研修ーリスク管理編ー	川本 真悟
7月26日	施設ケアマネージャー向け研修会	清 信晶
7月31日	第二種衛生管理者試験	川本 真悟
8月8日	高齢者施設の大規模災害対策についての研修	上山 眞照
8月9日	認知症のBPSDその理解と対応	大戸 久恵
8月17～19日	ユニットリーダー研修	三嶋 泉
8月22日	苦情をどのように捉え、どのように解決していくか	山崎 美香
8月24日	認知症実践者研修における職場実習	太田 雅之
8月29日	ボランティアコーディネーター 相談員研修	庭野 康長

8月30日	現場における介護主任の役割とリーダーシップ	甲斐 由香里
8月31日	介護支援専門員実務従事者基礎研修(5回)	松井 俊幸
8月31日	ノロウイルス等感染症予防対策について	川口 直子
8月31日	クレーム&コミュニケーション	庭野 康長
8月3~5日 8月11~12日 9月6日	認知症実践者研修	太田 雅之
9月13日	対人援助技術研修【初心者編】利用者により良い関係を築くために	渡邊 恵美
9月21日	上白根病院連絡会	原田 知義
9月22日	笑う介護士の秘伝	山口 直美
9月22日	横浜市福祉調整委員との意見交換会	原田 知義
9月26日	認知症介護基礎講座	森崎 恒一
10月1日	全国老人ケア研究集会	庭野 康長
10月5日	在宅における感染症対策	清水 千津
10月11日	「きずなの会」説明研修会	持増 真澄
10月13~14日	社会福祉法人経理研修	黒沢 博行
10月17日	社会福祉法人新会計基準研修会	黒沢 博行
10月19日	BPSDを回避する認知症ケア	大金 友亮
10月20日	全国個室ユニット型施設推進協議会研修会	上山 眞照
10月25日	トップセミナー「ワークライフバランスで職員や組織が育つ」	上山 眞照
10月25日	救急隊との意見交換会	高橋 英紀 甲斐 由香里 庭野 康長 金子 悦子
10月25日	旭区特別避難場所協定施設連絡会	上山 眞照
10月28日	高齢者介護における「食べるプログラム」	大森 幸代
11月1日	高齢者の権利擁護に関する研修	原田 知義
11月7日	旭区感染症・食中毒予防講習会	阿部 広美
11月8日	今冬の省エネ対策「企業編」セミナー	山崎 美香
11月11日	第2回川井地区内福祉施設と地域代表の打ち合わせ会	黒沢 博行
11月22日	トップマネジメントサミット2011 経営戦略セミナー	上山 眞照 山崎 美香
12月6日	障害者雇用促進セミナー	黒沢 博行
12月16日	(医)悠仁会研究発表会	中川 恵理子 松森 勇樹
12月12日	個室ユニット型施設の生活を豊かにするために	小森 道哉

12月13日	第5回拘束0の会研修会	沖村 篤
12月15日	施設・事業所等における地域との連携	黒沢 博行
12月15日	認知症緩和ケアとタクティールケア	大戸 久恵
1月12日	「生死学入門～輝いて生きるために～」	伊藤 道子
1月16日	今後の介護保険と介護支援専門員の在り方	下田 梓
1月30日	リスクマネジメント研修	新田 紗弥香
1月27日	クックチル導入提案セミナー	大森 幸代
1月30日	生活支援としてのレクリエーション	浅村 まゆ
2月14日	リスクマネジメント研修	新田 紗弥香
2月16日	改正介護保険制度と報酬改定の概要	上山 眞照 黒沢 博行
2月16日	認知症の理解とケア	鈴木 文子
2月20日	高齢者の急変時における異常の早期発見と対応	松森 勇樹 権代 紘庸
2月23日	お一人おひとりの穏やかな生活を営むために	小森 道哉
2月29日	負担の少ない介護	高橋 啓美
3月13日	認知症困難事例に学ぶ	安井 久人
3月15日	生活相談員の魅力～カリスマ相談員への道～	原田 知義
3月15日	旭区医師会と旭区役所で考えた勉強会 「地域で支える認知症」	清水 千津
3月15日	一目で分かる介護記録	大平 由加理
3月26日	アロマセラピー体験講座	甲斐 由香里

14. 職員研修2（施設内研修）

実施日	研修内容	講師
4月1日 4月4日	平成23年度事業計画及び運営方針について 就業規則等規則改正について	上山施設長 山崎事務局長
5月9日	胃ろう経管栄養の手順、誤嚥防止、滴下確認と 手順、跡固唾家と急変時の対応	遠藤看護師 金子看護師
5月19日	痰吸引及び経管栄養の手順等の研修	浦 看護師 谷川看護師
5月19日 5月26日	事故防止研修 平成22年度事故発生実績の検証と分析 事故多発時間、場所、傾向分析等	清 介護副主任
5月20日	胃ろう経管栄養の手順、誤嚥防止、滴下確認と 手順、跡固唾家と急変時の対応	川口看護師
6月13日 6月14日	感染症予防及び食中毒予防研修	川口看護師 大森管理栄養士
7月12日	高齢者虐待防止について	上山施設長

7月13日	身体拘束ゼロについて 緊急搬送及び酸素使用について	甲斐介護副主任 川口看護師
8月15日 8月16日	褥瘡予防のための研修	遠藤看護師 川本理学療法士
9月12日 9月13日	安全衛生活動について 介護職の腰痛予防のためのトランスのやり方	上山施設長 金子看護師 川本理学療法士
9月14日 9月20日	口腔内吸引研修	遠藤看護師
9月22日	心肺蘇生法及びAED操作研修	若葉台消防署 救急隊員
10月3日 10月11日 10月16日 10月21日	バイタルサインについての勉強会	松井Y r
10月11日 10月12日	感染症・嘔吐物処理実施研修	川口看護師 鈴木、田辺、松下 介護士
10月18日 10月19日	経管栄養研修	遠藤看護師
10月26日 (3回実施)	白十字オムツ研修	白十字棚橋氏
10月28日 (4回実施)	同上	同上
11月14日 11月15日	防災パネルの操作及び防災備蓄について	岸Y r、 庭野相談員
12月13日 12月14日	クレーム対応及びコミュニケーションの取り 方	庭野相談員
1月16日	口腔ケア研修	高梨歯科医師
2月6日 2月7日	ユニットケア研修	松森Y r、中川Y r 持増相談員 甲斐介護副主任 清 介護副主任

15. ボランティアの受け入れ状況

実施月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
麻雀、 囲碁、 将棋	日数	3	3	3	5	2	4	3	3	4	3	4	4	41
	人数	3	3	3	5	2	4	3	3	4	3	4	4	41
書道ボ ランテ ィア	日数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
個人 ボラン ティ ィア	日数	9	8	7	7	8	15	28	29	28	28	27	32	226
	人数	9	8	7	7	8	15	28	29	28	28	27	32	226
行事ボ ランテ ィア	日数	0	0	0	2	0	1	0	2	0	1	0	2	8
	人数	0	0	0	33	0	10	0	2	0	7	0	21	73
合計	日数	13	12	11	15	11	21	32	35	33	33	32	39	287
	人数	13	12	11	46	11	30	32	35	33	39	32	58	352

※個人ボランティアは、市社協「イキイキポイントボランティア」の登録者

※行事ボランティアは、既存ボランティア団体による行事の際の移動介助

16. 面会者の状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	784	827	762	765	746	696
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	757	806	740	842	691	793

※平成23年度面会者合計：9,388名

1日平均25.7名